

「微積分の発展」正誤表(2012.6)

p.7	6行目	全微分可能である必要十分条件は、「…	全微分可能であるとき, …
	7行目	… $F'(0)$ が $k, l$ …	… $F'(0)$ は $k, l$ …
	8行目	…と表される」ことである。	…で表される。
	10行目	まず「……」が成り立つときの定数 $A, B$ …	まず定数 $A, B$ …
	13行目	$\Rightarrow) f(x, y)$ が…	$f(x, y)$ が…
	16行目	… = $Ak + Bl$ .	… = $Ak + Bl$ . □
	17行目	17行目～22行目	削除
	24,5行目	「方向微分が…る」…を忘れてはならない。	方向微分だけからは判定できない。
	26行目	「方向微分が…である」とき	点 $(a, b)$ で全微分可能であるとき
		7ページ訂正の詳細は、 <a href="http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~hosono/books/biseibun">http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~hosono/books/biseibun</a> 参照。	
p.79	11行目	..., $(x^2 + y^2)uv - 2u^2x^2 = 0$	..., $(x^2 + y^2)uv - 2u^3x^2 = 0$
	11行目	= $(1, 1, 1, -1)$	= $(1, -1, 1, 1)$
	12行目	= $(1, 1, 1, -1)$	= $(1, -1, 1, 1)$
p.34	10行目	..幅 $ E $ とする。	..幅 $ \Delta $ とする。
p.90	5行目	4) ..... = $\mathbf{a} \times \mathbf{c} + \mathbf{a} \times \mathbf{c}$	4) ..... = $\mathbf{a} \times \mathbf{c} + \mathbf{b} \times \mathbf{c}$
p.150	8行目	問3 $F(t) = \dots$	上記 http 参照。
p.156	13行目	= $(1, 1, 1, -1)$ で 8.	= $(1, -1, 1, 1)$ で -2.
	13行目	$u_x = -1, u_y = 0; v_x = 0, v_y = 1.$	$u_x = 0, u_y = 0; v_x = 1, v_y = 1.$